

会議録

令和2年2月25日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和元年度第9回定例会
開催日時	令和元年12月18日(水) 18時30分から20時30分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：西原みどり(副会長)、伊藤正明、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小沼純子、高井正 職員：高田館長、國府方館長補佐、山本分館長(田無)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野主査
欠席者	委員：小野修平(会長)、山本一幸、倉持伸江
議題	<p>1 議題</p> <p>(1) 公民館主催事業について</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画 (資料1)</p> <p>イ 令和元年度公民館主催事業報告 (資料2)</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>ア 第6回定例会会議録(案) (資料3)</p> <p>第7回定例会会議録(案) (資料4)</p> <p>第8回定例会会議録(案) (資料5)</p> <p>イ 行政報告</p> <p>(1) 第4回市議会定例会報告</p> <p>ウ 公民館だより編集室報告</p> <p>エ 都公連委員部会報告</p> <p>2 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 都公連公民館研究大会参加確認</p> <p>(2) 社会教育委員研修会参加報告</p> <p>(3) 2月定例会日程について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 1月定例会開催について</p>
会議資料の名称	<p>【資料】</p> <p>資料1 令和元年度公民館主催事業計画書</p> <p>資料2 令和元年度公民館主催事業報告書</p> <p>資料3 第6回定例会会議録(案)</p> <p>資料4 第7回定例会会議録(案)</p> <p>資料5 第8回定例会会議録(案)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 2名
会議内容	
<p>1 議題</p> <p>(1) 公民館主催事業について</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画 (資料1)</p> <p>○A委員</p> <p>ライフスタイル講座「いちばんおいしいコーヒーを楽しむために」(田無)について。3回連続講座か、2月23日または3月1日いずれかと3月8日出席するのか。谷戸公民館ロビー講習会と同じ講師だが、内容はどのように違うのか。材料費は各回500円かかるのは毎回試飲をするからか。</p>	

○分館長(田無)

3回連続の講座。1回目と2回目は内容が異なる。調理実習のできる施設の特徴を生かしたより深く学べる講座を企画した。各地の選りすぐりの豆を用いて毎回試飲をする。

○B委員

ライフスタイル講座(田無)について。達成目標3に「コーヒーが消費者に届くまで」とあるがフェアトレードという視点を踏まえた内容になるのか。

○分館長(田無)

担当者にそのような内容を踏まえた展開になるよう伝える。

○C委員

ライフスタイル講座(田無)について。せっかく良いコーヒーを頂くので紙コップなどではなくコーヒーに見合うカップの用意はあるか。

○分館長(田無)

調理室に常備されているカップを使用する。

○A委員

「HappyセカンドライフPart II」(保谷駅前)について。副次的効果にある公民館の周知について。駅前公民館であれば広く市民が利用する場所や商業施設への掲示等広報について公運審でも意見が出されていたと思われるが検討したのか。

○分館長(保谷駅前)

ステアビル内エレベーター脇に掲示した。駅構内は掲示できないとのこと。今後も周知するよう努める。

○C委員

事業計画案が2件であり例月に比べ少ない。予算がなくなってきたからか。年間事業計画のスケジュールを考える必要があるのではないか。

○館長

予算が理由ではない。例えば子ども対象であれば夏休み、冬休み頃、保育付き講座であれば自主化のためそれが可能な時期に集中する。今回の計画は2～3月実施分。この時期の実施計画は調整中のものもある。

●令和元年度 公民館主催事業計画2件は承認される。

(1) 公民館主催事業について

イ 令和元年度公民館主催事業報告(資料2)

○A委員

「公民館入門 地域でつながる仲間の輪」(田無)について。副次的効果について達成度を具体的に知りたい。アンケートの「高齢化は共通の悩みだと分かった」「公民館を市民は必要としている」は、どんな内容を受けての声だったのか。

○分館長(田無)

田無公民館利用の曜日ごとにテーブルを囲み、サークル紹介、現在の困りごとなどを話し合い情報交換を行った。長期にわたり活動しているサークルが多くメンバーが高齢化し、次世代育成の悩みを持っている。さらに学習を継続する中で無料で利用でき、仲間と集える公民館は大切なものであるということを再確認できた。副次的効果「新たな発想」とは、この講座でサークル同士のつながりができ、新しい発見や活動の発展があったということである。

○A委員

子育て中の女性のための講座「なりたい私になる！子育てコーチング講座」(田無)について。アンケートから「子どもが幼稚園に行く前にもこのような講座に参加していればよかった」とある。参加者が何を見て申し込んだのか集約できているか。公民館だよりを見ない人にもどうやったら情報が届くか工夫し次年度につないでほしい。

○分館長(田無)

一番見ているのは公民館だよりの募集である。公民館だより以外では幼稚園、小児科、了解を得られたマンションなどにポスター掲示、チラシの配布などを行っている。

- A委員
創作講座「御朱印長を手作りし、秩父観音巡礼を学ぶ」（芝久保）について。物づくりの講座は人気があるが定員20人に対し参加者が14人。申し込みは何名だったのか。アンケートに「時間・回数を長めにしてほしい。」とある。次年度の展望を聞きたい。
- 分館長(芝久保)
申し込み、参加者数共に14人。継続するか否かは次年度成人対象事業全体を見て検討する。
- A委員
「第37回芝久保公民館まつり」（芝久保）について。イベント運営やや不満3%とあるが、今後の課題に記載されていることが理由か。
- 館長(芝久保)
今後の課題として記載されている通り参加団体の減少、広報委員の負担ではないかと思われる。
- D委員
芝久保公民館まつりの実行委員であり広報を担当した。満足できなかった方もいたようだが、大盛況でほとんどの方に良かったと評価していただき概ね成功であったと思う。
- A委員
子育て中の女性のための講座「コーチングでイキイキ！」（ひばりが丘）について。応募が少なかった。開催時期のタイミングが原因の一つではないか。4月早々は子育て中の母にとって忙しい時期なのではないか。どのような方が参加したか。
- 館長補佐
開始は4月の下旬で、忙しさも落ち着いたころと思われる。応募が少なかったということで広報の在り方を見直す。申し込み11人中7人は公民館の講座は初めて。9人は1年半以内に転入してきた人であり、新しい地域のつながり、地域を知っていただくという面では一定の効果はあったと考える。
- E委員
マンションが多く需要は多いはずなのに定員割れはもったいないので、幼児健診の際のチラシ配布やマンションへの掲示など、広報に工夫をしてほしい。立ち上がったサークルについては、継続して支援してほしい。
- F委員
子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について。講師に保育付きサークル、元保育付きサークル、かつて学習支援を受けた方を呼んでおり、縦のつながりが素晴らしい。講師としてどのようなかかわりがあったのか。
- 館長補佐
元保育付きサークル子育て中のママによるコンサート（公開講座）を行った。参加者にエールを送るなど小さな子供を育てているお母さんに寄り添った内容だった。保育付きサークルによるサークル活動の話、地域の情報交換を行った。
- 副会長
あの地域は新しい住民も多く今後子育てをするうえで新しく地域にかかわっていくであろう人たちを講師に招いている意欲的な講座であると思う。しかしながら「コーチングでイキイキ」というネーミングでは講座の内容が伝わりにくかったのではないかと。9月にはサークル体験も並行して行われ地域の人材を発掘しようという意欲に満ちた企画である。見つけた人材をさらに地域につなげサークルを支援していくという地域の中で循環していくサイクルが良い。
- B委員
「子育て中の女性のための講座」について。何館かで実施しているが子育てをしている女性でないと参加できないのか。「子育ては今は考えていない」等子育てをしていなくても地域とつながりたい方はたくさんいる。
- 分館長（谷戸）
子育て中の女性に限るか否かは、講座のねらいや内容によって異なる。対象を講師に相談する場合もある。学習支援保育は乳幼児を育てているため社会参加ができていない方を対象にしているため概ねそのような方をターゲットにした内容になる。なお保育の必要のない人でも参加はできる。
- C委員
両親が外国人で日本語が話せない子供の保育は可能か。
- 事業係主査

柳沢公民館で「子育て中の外国人女性のための日本語講座」を実施しており日本語を話せないお子さんを預かっている。様々な国のお子さんがあるが保育者が配慮しており、言葉の問題はない。

○A委員

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について。目標の達成度の中で「西東京子ども条例について確認する機会となった」とある。本年度事業計画の中で子ども条例についての取り組みはなかったため、次年度は計画してほしい。

○A委員

「バンドマルシェ@保谷駅前」（保谷駅前公民館）について。「音楽活動ができる設備があることを広く知らせることができた」とあるが、「第4学習室」という名称ではわかりにくい。音楽ができることがわかる表記に変える方が良いのではないか。

○分館長(保谷駅前)

保谷駅前公民館は防音室があるというのが特徴。ホームページでのわかりやすい説明や学校（小、中、高）へのPRを考えていく。

●令和元年度 公民館主催事業報告8件は承認される。

(2) 報告事項

ア 第6回定例会会議録(案) (資料3)

第7回定例会会議録(案) (資料4)

第8回定例会会議録(案) (資料5)

○A委員

会議録の整理の仕方が大きく変わっているようだが。

○副会長

全体の流れがより分かりやすくなるよう先に会議録記載基準を提案したが、それに沿って修正した。会長、副会長の進行上の発言は削除し、主催事業については、講座名を明記した。修正箇所があるようであれば指摘してほしい。

○A委員

「公民館だより編集室報告」「都公連委員部会報告」が「担当委員より報告」との記載だけになったのはなぜか。発言を記載する方が良いのでは。先に提出されたものには記載があった。編集方法の変更、大きな修正が入る場合協議をするべきではないか。

○副会長

配布資料に沿ったものは「資料参照」「担当より報告」となる。補足があり記載すべきものは残す。公民館だより編集室」「都公連委員部会報告」について記載すべき内容があれば指摘してほしい。

○C委員

会議録を正確に作成することは大事であるが会議録を早く市民に提出することも大事。これまで「遅い」というクレームはなかったか。

○副会長

第6回会議録が今だに承認されていないのは遅いと思われる。だが、記載内容が大きく変わったのでしっかりと審議し皆合意の下で承認したほうが良いと考える。内容や全体の流れのわかる会議録であることと、早く市民に届けることの整合性をどうつけるかも協議していければと思う。

○館長

クレームはなかったが早めに定期的に提出していくべきものであると思う。

○A委員

ホームページに公開するタイミングを教えてください。会議録の承認が遅れるとどのくらい掲載が遅れるのか報告してほしい。

● 第7回定例会会議録(案)について。指摘箇所修正の上承認とする。

第6回定例会会議録は次回再審議とする。

第8回定例会会議録は次回審議とする。

第6回定例会会議録、第8回定例会会議録は1週間以内に修正箇所を事務局に報告すること。

(2) 報告事項

イ 行政報告

(1) 第4回市議会定例会報告

○館長

一般質問において「公民館の政治的中立について」の質問が1件あった。それについて社会教育法第23条に基づいた答弁をした。さらに意見として「公民館で実施できる事業、できない事業等を明記したものを作るべきではないか」「『地方分権一括法』に伴い学校教育以外は市長部局が所管するべきではないか」ということを述べられた。

○A委員

一般質問で出されたことをどう進めるのか。公運審の役割は。意見や要望を出せるのか。

○館長

委員の質問の主旨は、一般質問でいただいた意見の箇所に対するものと考えている。意見については答弁はしていない。

ウ 公民館だより編集室報告

●担当委員より「第9回公民館だより編集室会議」について報告。

エ 都公連委員部会報告

●担当委員より「第9回委員部会運営委員会」について報告。

2 事務連絡及び情報交換

(1) 都公連公民館大会参加確認

参加する委員6名を確認。

課題別集会は後日決定後連絡する。会場へは市の大型バスで向かう。

(2) 社会教育委員研修会について

1月19日 13時30分から。次回定例会で報告。

(3) 2月定例会日程について

2月25日火曜日に変更。18時30分開始。

3 その他

(1) 1月定例会 1月22日(水) 18時30分から